

ほうじん さかかけこ



発行所
酒田市中町二丁目4番1号
社団法人 酒田法人会
TEL 26-4772
FAX 26-4788



謹賀新年

平成二〇年 元旦

鳥海山と白鳥

● あたらしい時代の経営者へ 法人会 ●

社団法人 酒田 法 人 会

URL <http://www3.ocn.ne.jp/~s.houzin>

E-mail s.houzin@jeans.ocn.ne.jp

新年のご挨拶



社団法人酒田法人会
会 長 前 田 直 己

新年あけましておめでとございます。
今年も新規会員の皆様を迎え、新たな年をスタートしましたが、何よりも会員各位のご健勝とご多幸を祈念するものであります。

さて昨年九月に、「公益法人制度改革関連三法」が整い、本年はいよいよその施行の年となります。現在の民法上の「公益法人」は、五年の移行期間を経て、新たな制度に合致しないと廃止を余儀なくされることになっており、当会としても時流に遅れることなく体制の見直しを行って参ります。昨年は会員のみならず、関係の多くの皆様の協力の下、「公益性」を意図して実施した講演会・研修会・セミナーや、「出前租税教室」等、幸いそれぞれに好評を得る結果となっております。本年は更に、皆様の知恵を拝借しつつ、高い組織率に見合った新たな試みを取り入れた活動が求められてくるものと存じます。

また、八幡・松山・平田の三商工会の合併を目前に控え、従来からの地域性重視の立場を堅持し

つつ、組織の一元化を図って参ります。具体的には、これまでの「支部」運営から「地区」運営への切り替えとなりますが、会員の皆様には、原則これまでと変わらないお付き合いをお願いする型と考えております。

当会の強味は、何といっても「青年部会」「女性部会」「三水会」の部会活動が活発なことです。税務手続きの電子化・会員サービスの拡充・社会貢献事業の展開等、課題は多くありますが、「酒田法人会」の旗の下、新たな可能性を求めたいものです。



酒田 税務 署 長
白 田 正 広

新年明けましておめでとございます。

社団法人酒田法人会会員の皆様方には、平素から税務行政に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

出羽人形による出前租税教室、工藤選手の講演会等をはじめとする幅広い事業活動を展開していただいております、そのご支援ご苦勞に対し、深く敬

意を表するしだいでありませう。

さて、酒田港の貿易収支を見ますと、輸出が対前年比十一・八%増と過去最高、県内の法人税課税状況では、申告所得総額が対前年比五・五%増と、数字だけを見ますと確実な経済の伸びを示しておりますが、誰もが好感感を実感できるまでにはいたっていないようで、「今年こそは」と期待するところではあります。

私どもでは昨年に引き続き、電子申告、電子納税(e-Tax)の利用拡大(平成二二年度までに利用率五十%達成の目標)に向けて、全力を挙げて取り組んでいるところであります。

また、平成二二年を目的に「内部事務一元化」を行って、事務の効率化を図ることとしております。

どうか皆様方におかれましては、なお一層の御力添えを賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

年頭に当たり、この新しい年が社団法人酒田法人会のご発展と、会員の皆様方の一層のご繁栄、ご多幸の年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



社団法人酒田法人会 青年部会
部長 大谷 正樹

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、ますますご健勝にて新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平成十九年度 私ども青年部会が率先して電子申告・電子納税（e-Tax）システムに取り組んでいかなければと思ひ、独自にe-Taxセミナーを開催し、電子申告・電子納税に対する理解を深めてまいりました。しかしながら、なかなか一度ではむずかしいし、具体的に自分のところでできるかという不安感からか実際にはなかなか進展しておりません。本年も、さらに理解を深め、導入率向上のために部会内で勉強していきたいと考えております。

また、社会貢献事業として、九月には女性部会の皆様が企画された小学生への出羽人形芝居による「租税教室」を、青年部会も協力させて頂き、松原小学校と港南小学校にて実施し、十一月の「税を考える週間」では横浜ベイスターズ工藤公康投手を講師に招き、「生涯現役 工藤家の戦い」という演題にて記念講演会を開催いたしました。今後とも会員相互の交流を通じて、情報交換や親睦を深めるとともに、青年部会としての社会貢献活動を推進して参りたいと考えております。本年も皆々様にとりまして良い年になりますよ



社団法人酒田法人会 女性部会
部長 大泉 公子

うにお祈りいたしますとともに、私たち青年部会会員に変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせて頂きます。

新年明けましておめでとうございます。

本年、子年・平成二十年という節目の年、何か皆さんと共に輝かしい年になりそうな予感が致します。私は昨年より部長を仰せつかり、皆様のご協力によりどうかここまで参りました。通常総会以降、七月の県内合同研修会（長井）に始まり、九月の「出前租税教室」や十月の環境施設視察と各委員会が中心になって、計画に沿った活動が進められました。とりわけ、青年部会の協力を得ての庄内出羽人形芝居による「出前租税教室」は、伝統の郷土芸能保存の意味合いも含め、初めてにしては、子供達には大変好評で、少しは社会貢献できたと自負しております。

当法人会にあつて、女性部会の存在とその活動は非常にユニークで、人と人との出会いを大切に！をモットーに、今年も皆さんと一緒にできる機会を増やし、相携えて前向きに進んで参りたいと存じます。

皆さんの益々のご健勝とご多幸をお祈りいたしております。

今年もよろしく！！



八幡支部
阿部 孝志



遊佐支部
那須 良太



中央下地区
小林 元雄



中央上地区
五十嵐 亮



駅東地区
本間 健



北部地区
池田 求



Web化促進
委員 長

平野 宣



広報委員長

和島 公



税制委員長

畠中 昭治



副会長
総務副委員長

滝井 宗一



副委員長
総務委員長

大滝 健二



副委員長
組織委員長

弦巻 伸



平山支部
菅原 順一



松山支部
斉藤 光也



河南地区
庄司 正喜



南部地区
上野 重征



東部地区
西村 慶治

地区長

平成二〇年度税制改正に 向けた提言を行いました

平成二〇年度に向けた税制改正に
関する提言について、去る九月全法
連にて決議されました。これを受け
て、当会としては酒田市長および酒
田市議会議長に対し、昨年一〇月三
〇日に、「提言書」を提示し陳情・
要請致しました。

主要な柱は、
法人税基本
税率の引下
げ、事
業承継税

制の確立でありますが、地方税制で
は「固定資産税軽減」を、また消費
税の地方還元についての考え方を質
しました。

個別には、「たばこ税」の税収に
見合った「喫煙権の共生」に向けた
施策の必要性と、「租税教育」の組
織的取り組みについても提言し
ました。



理事会・役員合同会議開催

今年度第三回理事会と第一回役員
合同会議が、一〇月一九日に開催さ
れました。主要議題は、平成一九年
度の課題である 税制改正に関する
提言、公益法人認定
に向けた取り組み、

そして 会員増強に向けた取り組み
について、現状報告と方針決定が行
われました。

とりわけ、組織強化月間を一〇
一月と定め、未だ景気に明るさの
見えない厳しい環境ながら、当
酒田法人会は今年度も組織率
七五%を目標に、会員増強
に努力することと致しまし
た。

組織強化月間 〈10月・11月〉

会員増強 組織率75%にご協力を!!



－ 研修会のお知らせ －

参加者募集中!!

1 「決算書」見方・活かし方の チェックポイント

平成20年 2月 6日(水) 14時～16時30分

講師 小坂 雄二氏

CS チャレンジ・サポート 所長
中小企業診断士

* 決算書の仕組みの理解はもとより、財務体質強化のための実務上のポイント、改善点・課題を早期発見すべきチェックポイントを分かり易く解説します。

2 「売れる！」セールスマンと なるための営業力アップ講座

平成20年 3月 6日(木) 14時～16時30分

講師 高澤 彰氏

(有)タカザワ企画代表取締役
中小企業診断士
(協会埼玉県支部常任理事)

* 「売れない時代」だからこそ、「売ってなんぼ。」の世界でセールス力の確認と磨きを求めている研修。新人からベテランまで奮ってご参加下さい。!

会 場 酒田市総合文化センター
3階 309・310号室

受講料 (資料代・お茶代込み)
会員 2,000円 非会員 3,000円

会員の皆様へ お願い!!

ホームページの登録を お願いいたします!

会員の皆様のホームページを法人会ホームページにご登録下さい。情報交換と異業種交流の場として役立ちたいと考えております!

Eメールによる通信ネットワークを 構築しよう!

会員の皆様のご意見・ご要望をEメールでお寄せ下さい。また会員窓口となるメールアドレスをご登録下さい。

(問い合わせは酒田法人会事務局まで!)

当面の日程



記念講演会講師

三反園 訓氏

(TV朝日コメンテーター)

五月二十三日(金) 十四時三十分～ 第二十七回通常総会	* 来年度の予定 *	二月二十一日(木) 十六時三十分～ 十七時 第二回役員合同会議	十二月十二日(火) 十二時 第三回組織合同会議
-----------------------------------	------------	--	-------------------------------

印刷に関する申告・納税がインターネットで行えます。

詳しくは

<http://www.e-tax.nta.go.jp>

e-Tax

ネットでもどこでも申告・納税

ご存知でしたか?

オフィスのパソコンから申告などの手続きが簡単にできます。それに、「e-Tax」を利用して所得税を申告すると

- ホームページからカンタン申告
- 最高5,000円の税額控除
- 添付書類の提出が不要
- 還付金がスピーディー

などのメリットがあります。

法人会は会社経営の効率化のために e-Taxの普及を支援しています。

税を考える週間
— 記念講演会 —

生涯現役

「工藤家の戦い」

横浜ベースターズ投手 工藤 公 康 氏



四十四歳・現役

プロ入り二六年、野村さんの記録に並ぶ。

何事も長くやることは厳しいもので、とりわけプロ野球選手の寿命は、平均六〜七年というところ、私の二六年は実は不思議な思いでいます。四一歳で二〇〇勝。普通ここで終わっていいところ、自分でも不思議なことに終着点とは思えなかった。現役を辞めてコーチ等も考えられるのかも知れないが、後輩に「教えること」となると、果たして「野球の全てを分かっているか？」となる。自分は到底そこまでいっていないと思うし、野球は生涯掛けて学ぶものと思っている。



忘れえぬ人・言葉

今でも強烈に胸に残るは、西武ライオンズ入団時に、根本管理部長（当時）に言われた「一人前の社会人になれ！」という言葉だ。高校出て何も知らないで、野球ばかりやって一軍の選手になれば良いという訳ではない。時に自宅に招かれて人間として、社会人として一番大事なことは何かを教えてもらった。自分としては、同氏の考え方を引き継いでいくことが必要と思う。あの人のようにはなれないが、人を観て、人を感じ、今やれることをやって行きたい。

歩んだ道

小さい頃は、貧乏で着るものは兄のお古だったし、旅行など行けたものではなかった。その反動もあって、入団当初は勝ち星にも恵まれ、高給を貰うと夜遊びもしたし、所謂「ワルガキ」ぶっていた。そのままだったら、野球人生は終わっていた。

救ってくれたのは嫁さんだった。二七歳で結婚。通帳と印鑑を渡し、披露宴を行おうとしたら、実は貯金がない。それでも、一緒になり落込んだ時ほど何も言わず、ごはんを作ってくれた。あの時期、あの時間がなければ今の自分はない。トレード・FA問題など、苦しい時に「あなたの食事は作るから、やりたいただけやったら」。こう言われたら、一生懸命トレーニングするしかない。しかし、「トレーニングって何？」となった時、嫁さんの行動力が発揮され、すぐさま電卓を買ってくるは、筑波大の先生に教える請うよう紹介されたりした。それで「トレーニング」・「身体のケア」について改めて学ぶことができた。野球では負けないと思っていたが、自分の知らない練習法は新鮮だった。次の年、復活し子供もできた。父親の資格を得て、漸く披露宴。自覚も出てきた。妻には感謝・感激なれど、カッコつけて何も言わずにいるが、今や「完全服従型」に徹している。

工藤家の戦い

男として、野球をすることは何の苦しみもない。練習のキツイのも四年目位まで。それからは人間関係。若い時は、それ程でもないが、家庭を持つと人との付き合いが大切になってくる。野球界もその意味では難しい。西武・ダイエー・巨人・横浜と移籍する度にいろいろあったが、自分から球団を出ると言ったことは一度もない。

何が一番苦しいかというと、子供達のこと。五人の子供の父親として、学校の中でいじめがあつても苦情が言い難い。いわゆる「有名人の子供」の気持ちを理解してもらえない。また野球選手はシーズンを終えると、リハビリと自主トレで、子供達に夢を与えることが不足になり勝ちだ。毎年、年齢を重ねるごとに自分で積み上げたものが傷みだし、二月のオープン戦に間に合わないと焦る。

ある時、移籍問題でマスコミに囲まれた時など、年端も行かない長男が「パパを苛めないで」と立ち向かった姿に、父親として申し訳ないと思つたし、移籍する時は皆一緒に転居したので、転校ごとに友達も変わり、相当なストレスを与えたものと反省している。私にできることは「父ちゃんすげえ!」と言わせることしかない。

しかし、ノックアウトされた



試合後に、昔は「パパ可愛そう!」から「負けんじやないよ!何やってんだ!」「左で調子が悪いなら、右で投げろ!」に変わった。漸く普通になったと思つ。子供に対して正面から向き合うことで、子供の気持ちを知り、自分は抱きしめるだけ、嫁さんがうまく言葉を掛けている。

言つてみれば、自分が一番悪い。しかし、野球を続けてきたお陰で、救われる思いもしてきた。「運」は努力した人間が勝ち取るものと思つているが、自分の場合は、家族が苦しんだ分、「野球の神様」が運んでくれたと思つ。今年、四、五月は勝てなかった。西武ドームの交流戦で漸く一勝目。二勝目は、福岡ドームで、何れも昔汗を流した所で、「工藤頑張っているのか?」「まだ終わるな!これからだ!」と言われているようだった。続けることは難しい。努力はまだまだ足りないと思つている。

思いは伝わる

プロ入り三年目、〇勝二敗。広岡監督に「アメリカに行つて来い!」と言われた。二一歳、野球には慣れたが、落ち込んでいた。プロで通用しない、一軍で期待に応えられないと悩んだ。アメリカに行き、その死に物狂いの野球に驚いた。ガラガラした眼、他人を近づけない雰囲気。正に「野生と家畜の差を目の当たりにして、如何に自分は甘えていたか?」を思い知つた。メジャーで活躍できる素地は、いざ試合となるとガラツと変わる集中力だ。日本に帰り、練習も変えた。この世界に居られるのも、変わったからだ。今回もアメリカでのリハビリは、この思いを忘れないためだ。

自分は「一日でも長く、一球でも多く投げたい」と思っている。家族の支えがあつて、自分に背負うものがあれば、頑張れる。

生涯現役

一年一年が勝負の世界。「生涯現役」は無理だ。しかし、自分の中では諦めない。野球への思いは、誰にも負けないし、その思いは消さない。家族に恵まれ、チームに恵まれた。

人間的に素直な選手は、実力が付いてくれば、強くなる。そのための切っ掛けが必要で、自分が少しでもその切っ掛けになれば良



いと考えている。人間後ろ向きでは歩けない。手術した腕は痛くても、辛いとは言わない。絶えず前向きに発言し、行動する。家族には、いつまでも何らかの形で野球に係わつていくと宣言している。そのことで、これからも絆を強めていきたいと思つ。

肉体を酷使する投手が、選手生命を維持していることを「不思議だ」と自問しながら、その解を披瀝した一〇〇分でした。工藤投手は、予想に違わず爽やかなスポーツマンで、「また来たい!」と言い残して会場を後にしました。

出前
租税教室

「税金って何？」

租税教育を「出羽人形芝居」を使ってやってみたら・・・女性部会の役員会で羽田コミュニケーション委員長から発言があり、一気に構想が纏まった。早速、二代目津盛柳貳郎氏に依頼し、人形芝居「税金って何？」が出来上がった。難しい題材を、伝統の民族芸能を使うことで、子供の柔軟な頭脳に、「税金の意義と役割」を浸透させることが、できたかどうか？

昨年九月一九日、午前は松原小学校（全校生徒五六〇名）、午後は港南小学校（同一八五名）で実演された。津盛座長が人形の仕組みや、その伝承に掛けた想いを語った後、それは世界に通じる巧みな人形捌きと、ユーモア溢れる筋書きに、子供達は大喜び。やはり伝統に培われ本物であることは、小さい子にも言葉以上の力で、感じさせるものありと実感したものでした。



平成19年度 研修事業ルポ

庄内映画村視察研修 (8/8)

— 三水会・課外研修 —



今話題の羽黒町松ヶ岡にある資料館と石倉口ケ地を訪ね、庄内映画村(株)の代表・宇生雅明氏の直々の案内で、映画の魅力と今後の庄内について含蓄のある話を伺いました。

社会保険セミナー (7/22)

今年度改正の「健康保険法」と「厚生年金法」の内容について、講師に社会保険労務士・三浦洋氏を招いて実務者セミナーを開催致しました。年金問題に話題が集中している最中、分かり易い解説・説明は好評でした。



女性部会課外研修 (10/18)

女性部会・ゼミナール委員会主催で、酒田地区クリーン組合と青南商事を訪問視察しました。高度なゴミ処理施設等を間近に見学しながら、改めて環境問題への関心と認識を新たにしました。



決算説明会

酒田税務署主催の決算説明会は毎年、年5回(4・6・9・12・2月)開催され、毎年行われる税制改正の内容について、分かり易く説明を受けることができます。

